

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501038
事業所名	グループホーム あさひ名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	自治会に加入し、運営推進会議で得た情報を基に地域行事の小学校での学区運動会や祭り、避難訓練に参加したり、日常の散歩で住民との交流を図っている。近隣の人から花や野菜を頂くこともあり、保育園とは運動会を見学したり、ホームの庭の池が保育園児の散歩コースになる等相互に繋がりをしている。中学生の体験学習や子ども110番を受け入れ、紙芝居やうた、習字、詩吟のボランティアの訪問がある。管理者は、自治会の会議に参加したり、総会では認知症について話しをしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議は2か月毎に地元元自治会長、地域の役員、民生委員、ケアマネージャー、家族、いきいき支援センター職員等の参加を得て開催している。ホームの現状報告や行事内容、外部評価について説明している。地域の行事予定を知ったり、地元の实情について活発に意見交換もされている。民生委員から近隣のコミュニティセンターの情報を得、地域との関わりを強化する活動拠点として利用していきたいと考えている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	区役所へは相談事や生活保護の手続き等で出向き、協力関係が構築されている。いきいき支援センターとも入所に関する情報提供や相談で連携している。近隣に新設されるコミュニティセンターを地域との交流、連携強化に向けて利用したい旨市総務課部長に相談している。キャリアアップ研修や管理者研修情報を得、職員が交代で積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族会や意見箱の利用はなく、管理者や職員は家族の面会時に利用者の暮らしぶりや健康状況を伝えながらコミュニケーションを図り、意見や要望を気軽に話せる雰囲気作りを努めている。ホームでの行事参加を呼びかけ、10周年行事は家族同志の交流の場となった。半年毎に、写真入りのたよりを発行しており、行事や日常の生活ぶりを知ることができる。	○
重点項目⑤	日常生活ぶりを知ることができる。	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

おおし

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。